

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	楽器レッスン4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて譜面、資料等を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	上野一郎	実務経験の有無・職種	有・プロベーシスト		
学習目的					
<p>この科目を受講する学生は、ベースという楽器の特性や演奏方法を理解し、基本的なリズムやビートなどのベーシストにとって重要な概念の理解とその演奏能力の向上、音楽理論の基礎概念の理解を中心に授業を進める。</p> <p>他方でサウンドクリエイターとして作曲におけるベースラインというものの理解を深め、自身の制作楽曲に学んだ技術や知識を反映できるようにすることを目的とする。</p>					
到達目標					
<p>演奏技術の習得が目標である。習得した技術を用いてあらゆるスタイルの楽曲に対してベースラインを作り出す能力を引き出せるようにする。</p> <p>昨今のベースプレイヤーの奏法は多岐に渡るために、奏法分析も行いそれぞれのスタイルを習得し、またオリジナル楽曲にも反映できるようにする。</p> <p>同時にリズムの概念、ハーモニーなど音楽理論的見地からベースという楽器のポジションを把握し楽器を弾けるようにする。</p> <p>楽器の歴史や代表的なプレイヤーのフレーズなども習得する。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>この授業では、譜面によるエクササイズと用意した練習曲を中心に進めていく。</p> <p>バックিংトラックを使用し楽曲に対してのアプローチを変化させスタイルごとの定番フレーズを学んでいく。</p> <p>オリジナルベースラインの作成をし実際にそれを既存の楽曲に当てはめるトレーニングも行っていく。</p>				
注意点	この授業では、授業中の私語や受講態度などに厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ベースラインを作る上で必要な知識	ダイアトニックコードについて			
2回	理論式の応用①	ダイアトニックコードをアルペジオなどいろいろなスタイルで弾く			
3回	理論式の応用②	ダイアトニックコードとスケールの関係			
4回	理論式の応用③	ダイアトニックコードの進行を感じながら弾く			
5回	リズムとパルスのトレーニング①	8ビート感覚を感じながら弾く			
6回	リズムとパルスのトレーニング②	正確な演奏を目指す			
7回	ジャンルアレンジベースライン①	ブルースのコード進行の理解			
8回	ジャンルアレンジベースライン②	ブルーススケールと調性についての理解 シャッフルビートについての理解			
9回	ジャンルアレンジベースライン③	ビート感覚を大事にブルースを弾く			
10回	ビートアレンジベースライン①	コード進行とシャッフルビートを正確に弾く			
11回	ビートアレンジベースライン②	16ビートのリズムの構成、シンコペーションの理解			
12回	ビートアレンジベースライン③	16ビートフレーズの正確な演奏			
13回	ビートアレンジベースライン④	16ビートフレーズとダウンビートの関係の把握、正確な演奏			
14回	特別テクニック	アルペジオのフレーズについての理解			
15回	後期まとめ	全体を正確に演奏し切る集中力			